

IT経営マガジン

COMPASS

[コンパス]

中小企業のIT活用情報をわかりやすく紹介

Winter 2021 冬

特集

若手社長に学ぶ デジタルが前提の経営

(デジタルトランスフォーメーション)

——結果的にDXという王道を行く



FOCUS

テレワーク時代のITツール

- ・労務管理はこうしてデジタル化する!
- ・在宅勤務で役立つプリンターとは?

compass:羅針盤(儀)=指針・方向性
<https://www.compass-it.jp/>

COMPASS [コンパス] 2021年冬号
令和2年11月27日発行

株式会社 リツクテレコム

発行人:土岡正純

編集人:石原由美子

頒布価格:本体360円+税

brother
at your side

家庭でも職場でも大活躍!

大容量 ファーストタンク

1回のインク交換で

1年以上*

印刷可能

ランニングコストを

約55%*

カットできる



交換カンタン!
カートリッジタイプ



こちらで、電子カタログを
ご確認いただけます。

大容量
FIRST TANK

1回のインク交換で
印刷できる
枚数*

約16倍

約375枚
標準モデル

約6,000枚
ファーストタンク

比べてください! ファーストタンク



*1 A4カラー文書をひと月あたり300ページ、ファーストタンクモデルでプリントした場合を想定して算出。*2 ファーストタンクモデルのインクコストは標準インクカートリッジ(LC3111BK/C/M/Y)対応モデルの約44.1%です。1枚あたりのインクコスト(A4カラー文書)と比較して算出しました。*3 印刷枚数算出に使用したインクカートリッジは、標準モデルがLC3111、ファーストタンクモデルがLC3135です。*印刷コスト算出に使用したインクカートリッジはLC3135BK/C/M/Yです。※測定データおよび測定条件につきましては、6ページをご覧ください。※上記のイメージは、ブラザー製品がイメージ内で使用している用紙の枚数をプリントできることを保証するものではありません。1回のインク交換で印刷できる枚数については本カタログをご確認ください。※製品本体に同梱されているインクカートリッジは写真のものと異なります。

【教育は変わり始めた。企業は?】
個別最適な学習と社会課題を解決する力の伸長へ



「未来の教室」ホームページ
<https://www.learning-innovation.go.jp/>

功の型」は、人口減・多様性の時代に当てはまるとは限らない。そしてデジタル化が一気に押し寄せ、誰もが日常的にITツールを利用する社会になった。デジタル活用を前提に経営を再構築する「DX」デジタルトランスフォーメーション」は、中小企業にとってチャンスとなる転換である。

企業規模によらず、業界の型に無理にはまらず、各社が個性を発揮して自分色の経営を進める可能性が広がるからである。

ただ、「個性を放つのはわかるがデジタルの部分はどうも…」との声もある。

ネットを見れば情報がたくさん流れているものの、断片的になりがちだ。こうした現状を踏まえて、本誌も参加するプロジェクトにて、デジタル経営を推進する経営者に役立つサービスを準備中であるが(コラム参照)、ここではまず、デジタルが身近な比較的若い世代の経営者に学びたい。会社を引き継いだ後、デジタルの力をどのように利用して舵取りをしているのだろうか。

「人を増やさずに売上を高められるのがデジタルの良さです」

こう話すのは、本誌2020年冬号で紹介した香川県・京兼醸造の京兼慎太郎社長だ。コロナ禍においても業界の特性を見極めて冷静な判断をし、捻出できた時間で新システムの構築に取り組んでいる。そして、「経営者はITのことをもっと勉強したほうがよい」と呼びかける。

沖縄県の兼城自動車整備工場・兼城力也社長は、顧客の利便性向上、そして顧客とより深

答えを真似るより
自社らしい一手を



「想定外」の2020年から2021年へ。不確定要素が多いなか、確実に進んでいることといえば、デジタル化である。デジタル世代の経営者がコロナ禍で下した決断から、デジタル経営のあり方を鳥瞰したい。

デジタルトランスフォーメーション
結果的にDXという
王道を行く

特集

若手社長に学ぶ 「デジタルが前提」の経営

「デジトレ」COMPASSも参加している 新サービスが近日スタート!

デジタル経営に取り組む中小ビジネス経営者の「自主トレのアドバイザー」として、
会社で伸ばしたいデジタルを5分で自己点検できる「デジトレ診断」、デジタル経営の推進に役立つコンテンツを提供します

これからは業種や規模の大小問わず、もれなくすべての中小ビジネスが経営のデジタル化に真正面から向き合う時代。デジタル経営の巧拙はこれまで以上に業績に大きな影響を及ぼします。

自社に必要なデジタル化のポイントを素早く見極め、着手できるよう、全国の実践事例から、デジタル経営をはじめ、伸ばす、にわたる選択および実行のポイントを、IT技術やツールの観点ではなく、経営の視点で整理・抽出し、「デジトレ」として体系化しました。



「未来の教室」プロジェクトを存続だろうか。経済産業省が3年にわたり展開している教育の再デザイン活動だ。目に見えるところでは生徒一人あたり1台の端末を配布(GIGAスクール)。教育におけるデジタル環境を整え、目指すのは、人間的・型にはめ込まない主体的な学習体制だ。

知識習得・ドリル系は、個々の習熟度に対応できる学習ソフトを用いて「画一・一斉ではない一人ひとりにとっての自由で自立的な学び」を提供する。

一斉授業に比べ短縮できた学習時間は、リアルな社会から学び・創る探究型の学習(STEAM教育)に充てる。自分らしさを活かしつつ、最新テクノロジーやアートに触れ社会課題を解決する力をはぐくむのである。

教育改革は「大人改革」DXの本質に通じる

教育の再編は、現在の大人たち「企業活動に求められる課題をそのまま映し出している。人口増・大量生産時代の「成

が、私はあえてお勧めせず、その段階では「何もしない」のが最大のサポートと捉えました。

それはなぜですか。

京兼 持ち帰る間に麺が伸びてしまつうどんは、テイクアウト向きとはいえませんが、さらに、うどん店は滞在時間が短いですし、価格が安く不況に強い。客足は早々に戻ると予測されたからです。飲食店とひとくくりにされがちですが、ビジネスの特性により対策も異なります。

動きが戻るまでの間は何をされていますか。

京兼 少し時間ができたので、2019年に導入したスマホアプリも取り込んだ新システムの開発に着手しました。2021年の3月に完成予定です。

—— 前は、うどん店側にスマホアプリを配布し、いつでも御社に発注できるようにしました。今回、実現したいことは何ですか。

京兼 簡単にいうと、受注から出庫までを一つのシステムで統合的にカバーし、手作業を最小限にしてミスやクレームを起こさない仕組みです。アプリや電話からの受注内容を一元管理し、顧客データ、在庫データと

「人数の限界」は超えられる！ 経営者こそITを学びたい

も連動。出庫時はQRコードを読み、間違いなく出庫できるようになります。

スマホアプリは発注行為をデジタル化しただけでしたが、今度はそれぞれのお客様のデータと連動します。例えば定休日はずして発送するなどのきめ細かい対応を自動的に行えます。お客様はスマホアプリから発注

履歴や最新在庫の確認ができ、利便性が高まるはずですが、以前なら、年商50億、100億円企業が導入するシステムかもしれません。

ではなぜ、従業員10数人の御社が取り組まれたのですか。

京兼 ITによって、手作業の限界ラインを超えることができるところからです。これまでも社員には「自分の時間単価を上げよう」と呼びかけて労働生産性の向上を図り、結果が出たら給与を上げてきました。

業務を止める原因の一つが「ミスやクレーム」です。「気をつけましょう」で終わらせず、チャットシステムに記録して現場の問題を分析しました。これらを発生させない仕組みを作れば、もつと生産性を上げられます。

次のステップでは、得られたデータを使ってAIによる需要予測・生産提案を行い、同じ人数のまま、取り扱ううどんつゆ



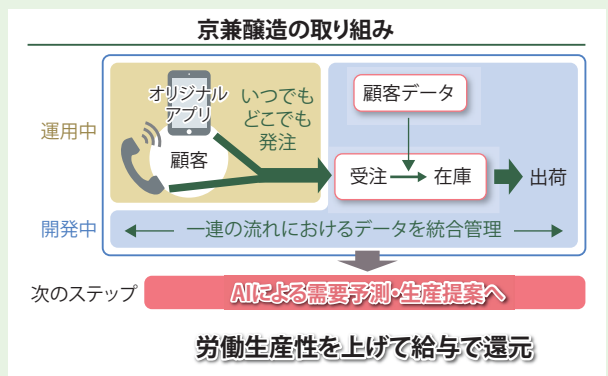
取材はリモートで実施

の種類を大きく増やす予定です。

—— デジタル化はもはや経営と一体ということでしょうか。

京兼 デジタルがそこにあった世代ですから。今回、システム構築にあたり、自分でもITの勉強をしました。望む家を建てるには、正確に要望を伝えられるレベルまでの建築知識が必要なのと同じです。

経営者ももつとITを学んで使い方を知ったほうがよいと感じています。自由に自社の経営をデザインし、社員の労働環境を整えるために、大変役立つからです。



*京兼醸造は、2018年にIT導入補助金、2020年にものづくり補助金に採択されています。

Special Interview

コロナ禍の判断とデジタル活用



ホームページより

京兼醸造有限会社
代表取締役社長
京兼慎太郎氏



—— うどん店にオリジナルのだしつゆを販売するビジネス。コロナ禍の影響はいかがですか。

京兼 昨年対比で4、5月は60%程度でしたが、現在は90%

本誌2020年冬号で紹介した香川県の京兼醸造は、うどん店が発注しやすいスマホアプリを開発し、理想とするシステム化の第一歩を踏み出した。それから1年。コロナ禍に直面し、どのような舵取りをし、会社はどう変化しているか。京兼慎太郎社長にリモートインタビューを行った。

（文中敬称略）

程度まで戻っています。年明けは110%、120%ときていたので、本来の目標と比べればまだまだです。

—— 飲食店は大きな打撃をうけているなか、堅調ですね。業界で

はテイクアウトに力を入れるなど緊急対応も求められました。京兼 テイクアウトに関しては取引先からご相談も受けました

会社概要
京兼醸造有限会社
香川県仲多度郡琴平町榎井162-3
●設立：1953年
●従業員数：13名
●事業内容：うどんつゆの製造・販売
●URL：https://kyokane.asia/

くつながらるためにITツールを導入した。

兼城社長もまた、コロナ禍にもかかわらずベンダーと共創して自動車整備業界に役立つ新システムを構築中である。

両社長は、「流行りのDX（デジタルトランスフォーメーション）をしよう」としたわけではない。今のIT技術・ITサービスの状況なら、顧客はより便利に、社内はより作業を減らし、自社のブランド力を際立たせられると判断した。ITツールの費用がこなれてきた今、大きな投資額に身構える心配も軽減さ

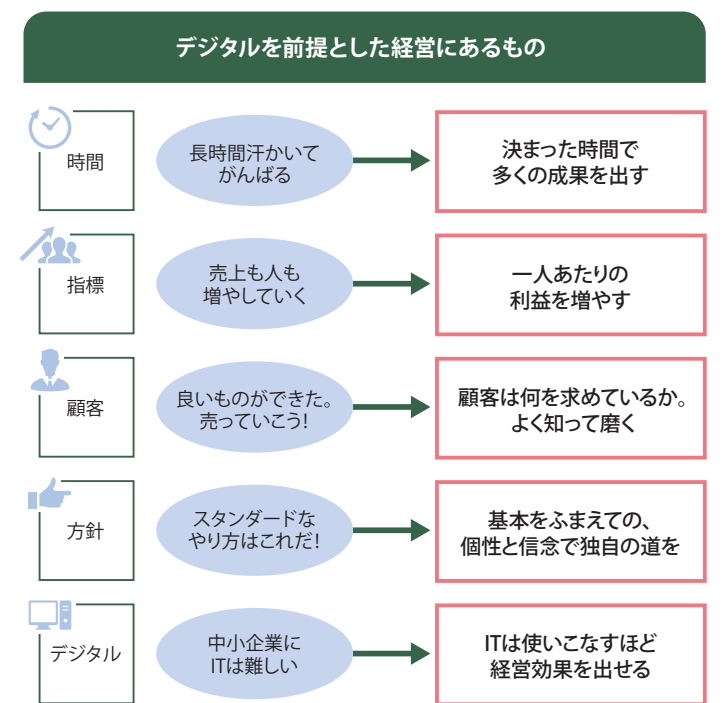
れている。

—— ありがたい姿に向かう行動が、結果的にDXになっているという爽快感がそこにある。

多様性が増す時代、絶対的な「成功の型」はない。経営者がテクノロジーの進化を正面から受け止め、自ら能動的にデザインしていく姿勢こそが求められている。

新しい教育を受けた子どもたちはあつという間に社会人になる。大人は変わるのか。

本特集では、2人の経営者のITへの視点、そしてコロナ禍の対応について紹介する。



この転換を実現する「デジタルの力」に
気づいた経営者は動いている!

経営者の決断



代表取締役
兼城力也氏



喫茶店のような明るくゆっくり話したくなる店舗

明るいスタッフが出迎えてくれる温かみのあるお店。沖縄県うるま市・兼城自動車整備工場が5年以上にわたり取り組んできた改革の象徴が、顧客との接点である店舗と人である。

20代で三代目経営者となった兼城力也社長は、別事業での借金が残リスタッフも沈みがちな社内で苦闘を続ける。経営学を学び海外でのビジネス経験もあったが、現場との乖離に悩んだ。

「ようやく売上が伸び始めたとき、工場の在り方を変えました。暗くて入りにくい整備工場では



ホームページ上から、車検の予約などができる

なく、女性が一人で入れて「また来たい」と思われる店に」

兼城社長は当時をこう振り返る。従来からの車検、点検整備に加え修理・新車販売も手掛け、一人の顧客と長くつきあえる事業体制とした。事業目的を「車を通じた喜びある人生のサポート」と定めた。

社内では「環境のせいになしな現状打破型の人になろう」と呼びかけ、接客品質の向上等、研修も重ねている。

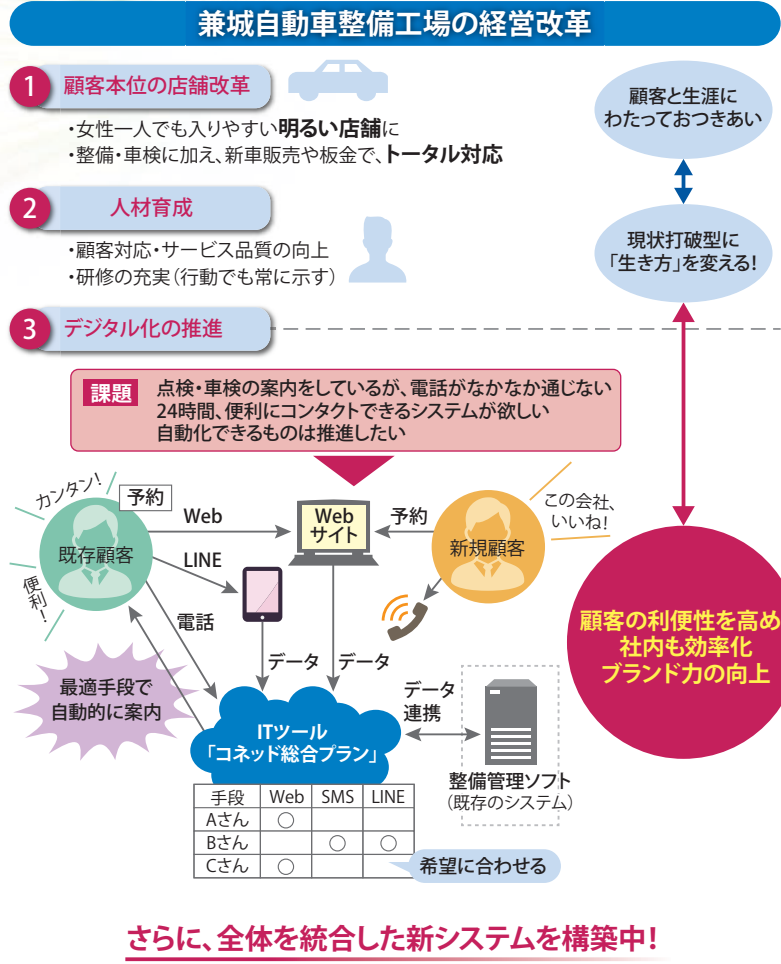
顧客が望む手段で車検の案内を自動配信

IT面では、自動車整備の案件を管理するソフトは導入していたが、車検予約の受付など顧

整備工場に求められるシステムの構築に着手

システムが本稼働した20

20年、コロナ禍に見舞われた。「レンタカー関連分野は厳しいですが、6か月間の個人の予約数は紙+電話の時代に比べて130%になっています」と兼城社長は状況を話す。ITの活



<ITベンダー紹介>

ゴールドバリュークリエーション
(沖縄県北谷町)

ツール名: コネッド総合プラン

ゴールドバリュークリエーションの「コネッド総合プラン」は自動車整備業務において、多様な接点で顧客との関係を強くしながら、業務プロセスを管理できるITツール。



代表取締役
金見義教氏
https://gvc.co.jp/

金見義教社長は、「企業のIT活用においては、何が必要で何を良しとするかを利用企業としっかり話し合えることが成果につながる」とのポリシーを持っている。

兼城自動車整備工場・兼城社長が同社を選んだのは、目的に沿ったITツールであったことはもちろん、企業姿勢に触れて「共に良いものを作れる」と感じたからという。

2021年春完成予定のシステムも「共創」して構築中だ。

用が奏功しているのだ。

その日に来店する顧客については、情報(前回の来社で何をしていたか、車を買ったのはいつかなど)を参照して頭に入れ、一人ひとりに応じた接客を心掛ける。ホームページと店舗の印象が一致し、兼城自動車整備工場のブランドを感じてもらえるよう、対応品質の向上にも常に努めている。蓄積したデータを最終的に経営に生かすのは、人のホスピタリティだからだ。

そして、現在、更に新しいITツールの開発を進めているというから驚きだ。

「すぐ欲しい部分をシステム化しましたが、次は、顧客視点での整備管理、予約システム、売

接客品質を磨き選ばれる店に! まずは、顧客とデジタルでつながる

沖縄県うるま市 自動車整備・販売業 兼城自動車整備工場

会社概要

有限会社兼城自動車整備工場

沖縄県うるま市字栄野比715-1

- 設立: 1989年
- 従業員数: 20名
- 事業内容: 自動車整備、車検、新車販売等
- URL: <http://kaneshirojidosha.com/>



らコンタクトしやすい。そこで、車検の時期が近づくとも自動的に案内でき、顧客も予約しやすい仕組みにすべく、2019年秋、自動車整備業向けITツール「コネッド総合プラン」(ゴールドバリュークリエーション提供)を導入した。

過去のコンタクト履歴を登録し、さらに整備管理システム情報とのデータ連携で、顧客情報と車両情報を取り込んだ。

車検時期が近付いた顧客には、メールやSMS、LINEなど、顧客が望む手段で案内を手間なく送信できるようになった。

送信時は、一人ずつに固有のURLが振られ、顧客は3回のクリックで簡単に予約が完了するという。

一方、新規顧客獲得に向けて



コロナ禍の現状はネット経由で取材。「世代交代はIT活用のチャンス」という。

上・入金情報の会計システムとの連動、経営数値の把握などを一つでカバーするITツールを、ゴールドバリュークリエーションさんと一緒に構築しています。同じ悩みを抱えている全国の整備工場の方々にも使ってほしい。特にデジタルに抵抗がない私たちの世代の方には「いいね!」と感じてもらえるはずですよ」

コロナ禍で原点に立ち返り本質を見直したという兼城社長は、「ワクワクが止まりません」と力強く、笑顔で語った。

*兼城自動車整備工場は、2019年にIT導入補助金、2020年にものづくり補助金に採択されています。

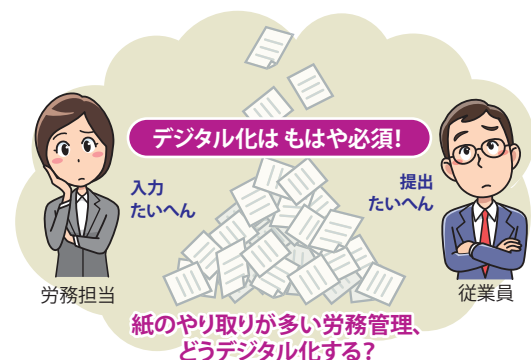
難しそうな労務管理も「紙」から脱却し 従業員も担当者も働きやすい職場に！

業務で扱う情報のデジタル化は、デジタル庁の新設や「脱ハンコ」など政府も取り組み強化に乗り出し、気運が高まってきた。

ただ、デジタル化をしにくいと思われる業務もある。労務管理などはその一つだ。一人ひとり異なる入社、身上異動、退職などの各種手続きはどうしても紙中心の管理になりがちだ。

このワークフローをデジタル化して管理できれば、業務効率化・作業時間短縮によって「一人総務」の企業でも担当者の負担をかなり軽減できる。コロナ禍の現状では、テレワークに柔軟に対応できるメリットも大きい。

他方で、社会保険手続きの電子申請義務化（2020年4月から大法人を対象とした一部の手続き）が始まり、今後は対象が拡大することも考えられる。コ



ンプライアランスの側面でも、労務管理のデジタル化は必須要件になる可能性があるのだ。

入社から退職・再雇用まで 一連の手続きを網羅

労務管理のデジタル化をスムーズに進める有効な手立てとして目を向けてほしいのが、基幹業務システム「奉行シリーズ」

を展開するオービックビジネスコンサルタント（OBC）のクラウドサービスだ。

同社は、企業内で行われる各種申請など定型業務のプロセス改善にフォーカスしたクラウドサービス「奉行クラウドEdge」をシリーズ化している。その最新ラインナップが、2020年10月に本格リリースされた「奉行Edge 労務管理電子化クラウド」である。

このサービスは、「奉行クラウドEdge」シリーズとして2020年4月に提供開始した「総務人事電子化クラウド先行特別版」をベースに、従来からの「身上異動届出クラウド」および「労務管理クラウド」の機能を統合したもの。入社の手続きから住所や振込口座の変更、結婚や家族異動、産休・育児、退職や定年再雇用の手続きまで、一連の労務管理業務のデジタル化、

ペーパーレス化を実現する。

従業員側は、紙を持参することなく、いつでもどこでもスマホやパソコンから各種の申請をWeb提出でき、時間を有効に使える。手続きごとの提出フォームはカスタマイズが可能だ。

労務担当者は、管理画面上で提出された情報をすぐにチェックが可能。直接修正あるいは差し戻して修正依頼がその場でできる。社員情報の更新もワンクリックでOKだ。上長の承認が必要な手続きも、Webワークフローを設定することで「脱ハンコ」を推進できる。さらに、役所への社会保険などの届出も、サービス画面上の操作のみで電子申請が行える。

作業の漏れ・ミスも防ぐ 業務シナリオを用意

「奉行Edge 労務管理電子化クラウド」では、各種手続

きをアシストする「業務シナリオ」が用意されている。シナリオに沿って作業を進めれば、漏れやミスなくスムーズに手続きを完了できる。シナリオの手順は編集や項目追加、順序変更も行える。

また、デジタル化されたデー

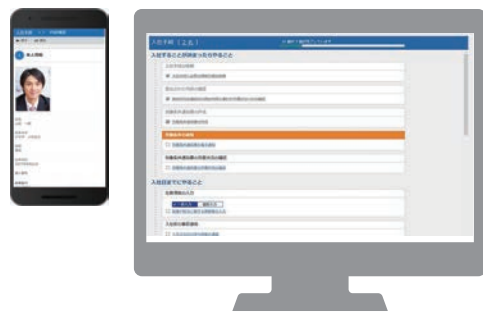
タを活用し、社員検索や人員・組織分析などがより効率的かつ高精度に行える。人事労務業務のブラッシュアップが可能となるのだ。

2021年以降、アンケート配付・回収、イベント予定通知や社内文書の公開・改訂通知な

ど総務関連の社内手続きにも対応する予定とのことだ。

まずは一つの業務からでもよいか、デジタル化へ一歩踏み出そう。

例えば入社手続きなら作業時間を95%も削減できる（OBC試算）。そして社内の認識や習



「奉行Edge 労務管理電子化クラウド」における業務シナリオの一例（入社手続き）

奉行 労務管理電子化クラウド の特徴

従業員の入社から退職までに発生する手続きをすべて電子化！

従業員とのやり取り効率化
（家族情報やマイナンバー、通勤経路など各種情報）

役所とのやり取り効率化
（入社・退職の手続き、出産・育児・介護の手続きなど）



6つの効果

- ① 情報収集のペーパーレス化で生産性向上
- ② 担当者と従業員の業務時間を大幅削減
- ③ 手続きの漏れ・ミスを解消
- ④ 業務の属人化を解消
- ⑤ 社員情報の一元管理・自動更新を実現
- ⑥ 転記なしで行政手続き（電子申請）が可能に

さらに蓄積した情報を活用して非定型な人事労務業務を定型化

* 奉行クラウドシリーズ（総務人事奉行クラウド）との連携で実現

社員検索の
スピードアップ



分析レポートの
自動化



人事労務業務の
精度向上



お問い合わせ先



株式会社オービック
ビジネスコンサルタント

●ご相談窓口

0120-121-250

奉行クラウド

検索

熟の度合いを見ながら範囲を広げてはどうだろう。労務・人事・総務のあらゆる手続きをカバーする「奉行Edge 労務管理電子化クラウド」なら、どんなステップアップのシナリオにも柔軟に対応できるので安心だ。

表彰

おかやまーT経営力大賞
令和2年受賞企業決定

おかやまーT経営力大賞実行委員会は、今年度の「おかやまーT経営力大賞」受賞企業を決定し、11月26日に表彰式を開催。地域で意欲的にIT活用に取り組む企業を見える化する活動である。岡山県での継続的な実施は、他にはない特徴である。

令和2年度の受賞企業は次の通り。

- ・大賞
フジワラテクノアート
- ・優秀賞
山陽ロード工業
- ・チャレンジ特別賞
アステア
ビサン
- ・地域貢献特別賞
岡山博愛会病院

おかやまIT経営力大賞
https://www.optic.or.jp/seo/okayama_it/r02/forum

セミナー

ーT経営カンファレンス開催

各地のITコーディネー
ネットワークとITコー
ディネータ協会は、
2020年ー2021年にIT経
営カンファレンスを開催する。
地域の中小企業にIT活用の旬
な情報を提供し、ITコーディネー
タの活動も広報する。
現在の予定は次の通り。

- ・石川 12月9日
「ウィズコロナの中、ITをどう活用していくか」
- ・大阪 2021年1月20日
「アフターコロナ（ウィズコロナ）の世界を如何に生き残るか」
- ・富山 2021年2月16日
「ニューノーマル時代に必要なコト（仮）」
- ・長野 2021年2月18日
「働き方改革」が企業の経営に与えるメリットとは」
- ・宮城 2021年2月19日
「アフターコロナ、ウィズコロナを見据えたICTの利活用」
- ・京都 2021年3月4日
「デジタル活用による新たな顧客価値創造」
- ・愛知 2021年3月10日
「DX時代に飛躍する新しい中小企業の創造」

ITコーディネータ協会
https://www.itc.or.jp/society/activity/confe/it2020_2.html

COMPASSのWebサイトをご活用ください!

「COMPASS ONLINE」では、本誌情報はもちろん、電子ブック版やWebオリジナル記事、最新の情報をお届けします。

パスワードの登録にて、読者メール会員の方のみが見られるオリジナルコンテンツもスタートしています。



<https://www.compass-it.jp/>

読者アンケート、資料請求
された方からのご連絡を
Webサイトで受付中!

2021年2月10日まで

COMPASSサイトのトップページボタンからどうぞ

<https://www.compass-it.jp/questionnaires/>

資料請求者には
図書カード
プレゼント

エッセイ あいていのある職場日記

世中 渉(よのなか・わたる)

著者プロフィール:メーカーに入社32年目の元営業職。

出世はおまけと割り切りつつも、上司と部下に挟まれて迷い多き日々を送っている中年風中間管理職。

「世中流オンライン飲み会あるある」

先日オンライン飲み会デビューをした。正直、2度目はないかなあと思った。オンライン飲み会初心者のために世中なりのアドバイスを送ってみたい。



1. 陣地
リビングやダイニングを陣取れるだけの甲斐性がなければ、Wi-Fiのカバー範囲と家の生活導線を考慮した廊下の端しか残されていない。おぼんや座布団の用意を。

2. 酒
ビール〜サワー〜日本酒のようなちゃんぽんは、酔いやすいリスク以上に交換時に中座して会話から置いていかれるリスクが高くおすすめしない。

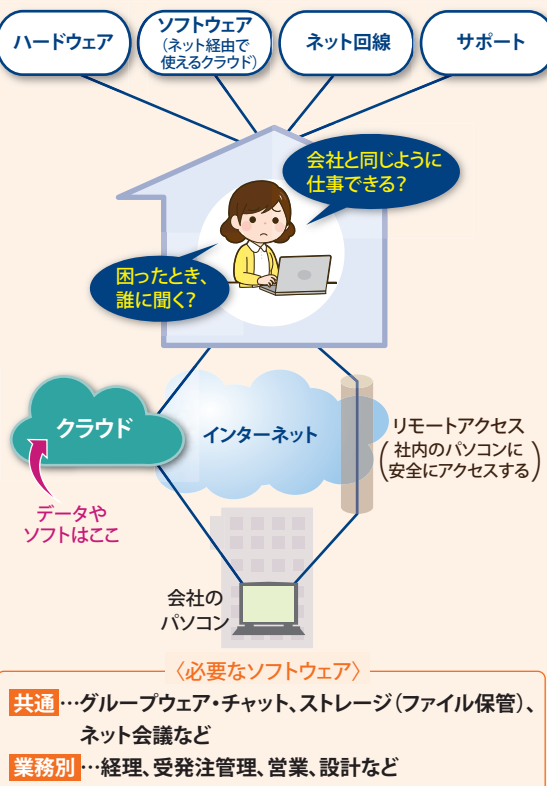
3. 肴
普段通りのものを選ぶ。「誰の家にもあるものでちょっと工夫したら最高のつまみになる」話は、オンライン飲み会特有の沈黙を避ける最高の肴となる。

4. 相手
やたらと中座したくなったり、頻りにWi-Fiが切れたふりをしたくなったりするので、会社の人間とのオンライン飲み会はおすすめしない。

5. 事後
早々に後片付けをして家の機嫌をとる。しばらくはおとなしく生活する。次に誘われた時の断り方をシミュレーションしておく。

テレワーク
関連情報

テレワークのイメージ



新型コロナウイルス感染症の第三波で緊張感が高まるなか、パソコンで行う業務に関しては、自宅など、既存のオフィス以外でも仕事ができるテレワークの導入が加速している。

ネットに接続できる環境を整えたうえで、業務で使う情報やシステムを社外でも活用可能とする。大きくは、

- ・ネットがあれば利用できるクラウド型のツールを導入(Office e系ソフトやグループウェア、基幹業務など)
- ・会社のパソコンにアクセスし、リ

モート活用する(社内固有のシステムや社内に保管してある情報の活用)

の二つがあり、組み合わせも可能だ。働き方の柔軟性、生産性の向上が期待できる。活用頻度は少なくても、体制ができていると今回のような感染症や、自然災害のときに事業継続に貢献する。

ただし、セキュリティ上の問題や、上司・同僚のアドバイスを受けにくいこと、成果の測り方、自宅環境が仕事に適していない、社員の健康管理など課題もあるので、業務特性をみながらの導入が求められる。

テレワークの利用拡大に関するセミナー

総務省では、ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できるテレワークは、「人口減少時代における人材確保」や「地方創生」に寄与し、「働き方改革」にも有効な手段ととらえ、テレワークを推進するため、テレワークの導入等を検討している企業・団体等に対して、テレワーク全般の動向、セキュリティを含む情報通信技術や労務管理上の留意点、導入企業等の事例などを説明するセミナーを開催している。

現時点での予定は次の通り。

- ・12月11日
宮崎県
宮崎県企業局1階県電ホール
- ・12月16日
香川県
情報通信交流館 e・とぴあ・かがわ
- ・2021年1月14日
埼玉県
埼玉県県民健康センター
- ・2021年1月20日
福井県
福井県産業情報センター
- ・2021年1月25日
北海道
北海道経済センター
- ・2021年1月27日
三重県
アスト津 アストホール
- ・2021年2月4日
沖縄県
沖縄県立図書館

<http://teleworkkakudai.jp/seminar/>

厚生労働省では、テレワークに関する情報収集、セミナー案内、相談窓口などを用意した、「テレワーク総合ポータルサイト」を公開している。

他社の取り組み事例が読めるほか、導入方法や効果を高めるための情報なども掲載されている。

相談窓口である「テレワーク相談センター」では、5回の労務管理コンサルティングを受けられる。



厚生労働省 テレワーク総合ポータルサイト
<https://kagayakutelework.jp/>

テレワークを快適に プリンター

在宅ワークにぴったりなプリンターは？ コンパクトさ、インク大容量などをチェック

緊急 急事態宣言から、働き方改革へ。テレワークによる在宅勤務は、業務内容によるところはあるものの、働きやす

い環境づくりの一環として普及してきた。自宅で仕事をする際は、作成した書類や送られてきた資料の

確認のため文書の印刷が必要となり、自宅で使うプリンターへのニーズが高まっている。

いのか。使用頻度や枚数を基準に考えてみよう。

**使い勝手のいい
コンパクトなものを**

ブラザーのプリンターは、コンパクトかつ本体前面からインクや用紙を出し入れできるため、設置場所に柔軟性がある。

さらに、インクは4色独立のカートリッジ式を採用しているため、なくなった色だけ交換することができると経済面も考慮されている。

また、2020年秋にはA4複合機「DCP-J987N-W」を新発売した。今回、スマートフォンやPCからの印刷がさらに便利になる機能として指定の宛先にEメールを送ることで「Eメールプリント」機能を追

在宅勤務が増えた今、どんなプリンターが必要なのか？

会社にいるときと同様、結構プリントします

家族もいろいろ使います

家庭用プリンターはインク交換頻度が高いが仕事を中断したくない…

まもなく提出なのに…

スペースが限られているのでコンパクトで使いやすいものを

ニーズにあったプリンター選びで自宅業務を快適に

1 コンパクトで経済的なプリンターを

<DCP-J987N-W (A4カラー複合機)>



便利

フロントオペレーションで設置場所の自由度アップ

経済的

4色のインクカートリッジが独立しているためなくなった色だけ交換

きれい

水に強く文字がにじみにくい顔料ブラックインクを採用はがき印刷にもピッタリ

かんたんプリント機能

指定の宛先へのEメール送信により、ドライバーなしで本文と添付ファイルを印刷！
（「Eメールプリント」）



2 1度のインク交換でたくさんプリント！

「ファーストタンク」シリーズ A4:DCP-J988N

大容量インクカートリッジでインク交換の手間とコストを抑えられる



黒インクは標準モデルに比べ
約16倍！

急なインク切れで慌てる経験が減る！



残りの印刷可能枚数の目安をビジュアル表示



透明の
カートリッジ



サブタンクのインクで約200枚印刷可能

サポートも長く対応

「ハイブリ」会員登録すると、通常のメーカー1年保証に加え、「2年間に1回使える無償修理サービス」で修理期間が延長

**コスト・手間を抑え、
たくさんプリント**

家族の「おうち時間」を充実

<スペシャルサイト「プリントテラス」>

年賀状をはじめとする季節のポストカード素材、ペーパークラフトなどのコンテンツを無償で提供するWebサイト。

<https://online.brother.co.jp/ot/>

<年賀状もはがきもスマホから>

スマホ・タブレットからはがきを簡単印刷。年賀状はもちろん、案内やご挨拶はがきもテンプレートから選んで簡単印刷！



- *1 プリンターをネットワークに接続できる環境が必要です。
- *2 DCP-J987N、MFC-J998DN、MFC-J738DN/DWN、MFC-J903N。
- *3 印刷コスト/印刷枚数算出に使用したインクカートリッジはLC3111BK/C/M/Y。測定条件につきましてはブラザーホームページをご参照ください。ファーストタンクモデルの同梱インクはLC3133BK/C/M/Yのスターターインクカートリッジです。
- *4 ISO/IEC 24711 準拠の目安値。使用状況により異なります。

お問い合わせ先

brother

ブラザー販売株式会社
コールセンター

DCP-J987N-W : 0570-061015
DCP-J988N : 0570-061016

URL <https://www.brother.co.jp/>

加。これにより、外出先からの印刷が手軽にできるようになるなど利用シーンが広がる。

**プリント枚数が多いなら
大容量インク搭載モデル**

プリント枚数が多い、インク交換の頻度を減らしたい、という方におすすめなのが、大容量インクカートリッジ搭載モデルの「ファーストタンク」だ。

「ファーストタンク」は、これまで同様の使いやすさながら、標準機種対応のインクカートリッジと比べてブラックインクは約16本分、カラーインクで約10本分のインク量を搭載。一回のインク交換で印刷できるA4モノクロ文書の印刷可能枚数は約6000枚だ。

残りの印刷可能枚数が表示される液晶画面のインジケータと透明カートリッジにより、インク残量の把握が簡単なのも特徴である。本体側にサブタンクが搭載されており、カートリッジが空になっても約200枚の印刷に対応する。急にインクが切れて慌てて買いに行くということが

起きる心配が緩和される仕様になっているのだ。また、1枚当たりのインクコストは、税抜きでA4モノクロ文書約0.7円、A4カラー文書約3.7円とコストを抑えることができるのも魅力だ。

通常は1年のメーカー保証も、スマホアプリまたはWEB

ページから「ハイブリ」に会員登録すると、保証終了後の2年間で1回無償修理サービスを受けることができるので安心である。

在宅でストレスなく印刷ができる環境づくりを実現するために、用途に沿った最適なプリンターを選びたい。



すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド

めまぐるしく変わる世の中、ビジネスの環境にも大きな変化の波が来ています。
これからは、より自由に、より柔軟に働き方を選べる時代。
経理・総務・販売部門の皆さま、働き方を変えると業務がつながり、世界がひろがります。
さあ、新しい働き方をはじめよう。



テレ経理・テレ総務は
奉行クラウド



株式会社 オービックビジネスコンサルタント

導入をご検討の
お客様専用ダイヤル



0120-121-250

10:00~12:00 / 13:00~17:00
※土・日・祝日除く

〈東京〉〈大阪〉〈名古屋〉〈札幌〉〈仙台〉
〈関東〉〈横浜〉〈静岡〉〈金沢〉〈広島〉〈福岡〉

奉行でテレワーク

検索



IT経営マガジン
COMPASS

2021年冬号

第18巻4号
2020年11月27日発行(非売品)

◆発行人
土岡正純

◆編集人
石原由美子

◆企画・編集
大谷聖治
松森陽子

◆イラスト
朝倉千夏
金巻龍平

◆デザイン・制作
株式会社リッククリエイト
小幡一之

◆本文DTP制作・印刷・製本
社光舎印刷株式会社

◆発行所
株式会社リックテレコム
〒113-0034
東京都文京区湯島3-7-7

●お問い合わせ、読者登録先
COMPASS編集企画室
TEL : 03-3834-8059
URL : <https://www.compass-it.jp/>

本誌記事の無断転用・転載を
禁じます。

〔COMPASS〕
コンパスは羅針盤・指針を意味しています。
本誌をIT導入の指針としてご活用いただけ
ることを目指しています

支援情報

IT導入補助金2020について

本誌バックナンバーにて、2020年のIT導入補助金は、「通年に渡り募集する」旨
お伝えしておりますが、コロナ禍等諸般の事情により、2020年12月18日締め切り分
をもって一度募集を終了する予定です。

今回は2021年春予定とのことですが、正確な日程は発表になるまでお待ちくだ
さるようお願い申し上げます。

〈ヒヤリング先募集中〉

2020年2月以降にIT導入補助金を活用した企業の方で、
取材に応じてくださる方を募集しております。
IT企業の方からのご推薦も歓迎します。

編集部まで
お気軽にご連絡ください。
compass@ric.co.jp

専門家による診断——IT経営簡易診断

主に、小売、サービス、卸等の事業を想定し、IT経営簡易診断を実施。
専門家との3回の面談を通して経営課題・業務課題を全体最適の視点から整理
・見える化し、IT活用可能性を無料で提案する。

〈対 象〉

経営上の課題、業務上の課題を整理したい、ITの活用可能性を検討したい、生産性向上を目指
したい中小企業者。

1)顧客対応、営業支援業務(フロント業務)
2)総務、会計、人事、労務、在庫、物流等の間接業務(バックオフィス業務)
●申し込み 2021年1月29日まで ●事業期間 2021年2月末終了まで
<https://www.smrj.go.jp/sme/enhancement/diagnosis/>

「COMPASS」について

「COMPASS」は中堅・中小企業向けに使いやすい
製品・サービスを提供している企業のご協力により
発行しております。

●中小企業の方、1社1冊までは、無料でお読みいただけます(お手もとまでお届けします)。
●発行は年4回(2月、5月、8月、11月)です(都合により若干変動します)。
※セミナー利用等におけるまとまった部数(有料)にも対応させていただきます。

●読者登録のお申し込みは、下記Webサイトで受け付けております。
送付先変更、送付中止はEメール(compass@ric.co.jp)までどうぞ

<https://www.compass-it.jp/>

COMPASSのFacebookページで情報発信中。
「いいね!」をどうぞ!

<https://www.facebook.com/compassnetwork/>